



GENIAC-PRIZE

テーマ 1 社会課題追加説明会

2026年8月31日

主催



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry



NEDO Challenge

協力



警察庁



厚生労働省



国土交通省

農林水産省

本日のアジェンダ

13:00-13:02 オープニング

13:02-13:10 GENIAC-PRIZEの事業説明

13:10-13:15 新着情報

13:15-13:35 各省庁プレゼン

13:35-13:45 昨年度受賞者によるTips

13:45-14:00 QA

本日のアジェンダ

13:00-13:02 オープニング

13:02-13:10 GENIAC-PRIZEの事業説明

13:10-13:15 新着情報

13:15-13:35 各省庁プレゼン

13:35-13:45 昨年度受賞者によるTips

13:45-14:00 QA



GENIAC-PRIZE (NEDO懸賞金活用型プログラム) の概要

「GENIAC-PRIZE」では、NEDO懸賞金活用型プログラム (NEDO Challenge) の制度を活用し、AIによる解決が望まれるテーマに即した具体的なニーズに基づくAIサービスを開発・実証・応募いただき、審査を経て成果に応じた懸賞金を授与します

GENIAC事業で目指す開発力強化と社会実装をより全国的、 かつ継続的に広げる

GENIAC-PRIZEの目的

開発力強化



国産モデル開発

- ・汎用、領域特化、マルチモーダル等の50超のモデルを開発



開発ノウハウ

- ・汎用能力の向上に加え、領域特化、マルチモーダルに求められる開発ノウハウを蓄積



人材

- ・実開発を通じ、500名超のモデル開発者を育成



社会実装

プレゼンス向上

- ・GENIACの取組を広くメディア・イベントで発信、国産モデルのプレゼンス向上



ステークホルダーの巻き込み

- ・アプリ・ユーザー企業、計算資源提供企業、VC等も巻き込んだコミュニティ構築



業務への実装

- ・実証や実利用が進展



より全国へ
継続的に
広げる

テーマに即したAIサービスを開発・応募いただき、成果に応じた懸賞金を授与するコンテストを実施



今年度のテーマ

懸賞金規模

テーマ1 社会課題

エッセンシャルワーカーの人手不足解消に
資するAIを活用した業務プロセス改革

- ユースケースの開拓・利活用を推進し、
エッセンシャルワーカーの人手不足解消に
資する開発と実証を促進する

総額6億円

本日の
説明

テーマ2 人材育成

フィジカルAIに向けた開発者育成 (学生) の
ための公開型の基盤モデル開発

- 計算資源利用が難しい学生のモデル
開発経験を通じて、日本全体の技術
レベル向上に繋げる

総額約0.3億円
(他計算リソース 等:
約4億円相当)

社会課題をテーマとした事業では、**エッセンシャルサービス業※**における**人手不足の課題解消に資する提案を全国から広く募集し、AIを活用した業務効率化や負担軽減に資するシステムの研究開発・実証提案、センサーやロボティクス等のフィジカル技術との連携も含む業務プロセス全体最適化を期待します。**

※エッセンシャルサービス業とは、人々の生活に不可欠な物品又は役務を供給する業務と定義し、エッセンシャルワーカーとは、エッセンシャルサービス業の従業員と定義します

課題名 | エッセンシャルワーカーの人手不足解消に資するAIを活用した業務プロセス改革

課題の内容

現場業務における人手依存の高い作業の効率化・高度化が課題

- 急速な少子高齢化による生産年齢人口の減少がエッセンシャルサービス業の人手不足を深刻化、経産省試算では最大76兆円規模の経済損失リスクがある
- 一方で、エッセンシャルサービス業におけるAIの活用は依然として十分に進んでおらず、生産性向上や付加価値創出の余地が大きい

✓ 総額6億円を
授与予定

✓ 審査員特別賞は
総額3億円程度

- 協力省庁特別賞
 - 4省庁×5,000万円
 - 各省庁が受賞企業へのインセンティブとして別途伴走支援等を用意
 - チャレンジ賞・地域賞 等
- ※詳細は後述

エッセンシャルワーカーの人手不足解消に資するAIを活用した業務プロセス改革

生成AIを活用したエッセンシャルサービス業における人手不足の課題解消に資する提案を全国から広く募集します。

懸賞金

各順位に応じて懸賞金を授与予定です。

1位 1億円	2位 8,000万円	3位 6,000万円
4位 4,000万円	5位 2,000万円	審査員特別賞 総額3億円程度

※詳細は別途公表予定

協力省庁のご紹介

GENIAC-PRIZE 2026では、4省庁が協力省庁として参画し、課題・テーマを提示しております

※詳細は後述



警察庁



厚生労働省



国土交通省

農林水産省

- 日本国内の法人、団体および農業・林業・漁業経営体 (個人を含む)
- ただし、**応募者はユーザーであることを条件**とします。ユーザーが必要に応じて開発者 (AI開発者やAI提供者、個人を含む) と組んで応募することも可能です

パターン① ユーザー企業と開発者が組む

ユーザー企業



開発者



パターン② ユーザー企業のみで応募

ユーザー企業 (自社開発 等)



本事業では、国産基盤モデルを活用しないAIシステムの応募も可能とします
ただし、**開発・実証においては、いずれかの国産基盤モデルの活用を必須**とします

※ロボット基盤モデルを除く

上記要件 の理由

- ・ 国産基盤モデルの開発・実証を通じて、その実運用環境における活用を推進したい
- ・ 国産基盤モデルの普及を図ると同時に、その過程で得られる知見やフィードバックを国産基盤モデル開発事業者還元することにより、国産基盤モデル開発の一助としたい

国産基盤モデルとは、以下2つを満たしているものを国産基盤モデルとします

1. 日本国内で登記されている、かつ、日本国内に開発拠点を有する企業・大学等が開発したモデル
(国産基盤モデル開発事業者リストをご参照ください)
2. フルスクラッチモデル、既存の基盤モデル (国産基盤モデルに限らない) を追加学習したモデル、
国産基盤モデルをファインチューニングしたモデル

※特設サイトで国産基盤モデル開発事業者リストを公開しております

応募者は、取組概要およびAIシステムの開発・実証成果を提出します

成果物は提案書およびデモ動画とします

提出期限	項目	主な内容	提出方法
26年9月30日 昼12時	• 取組概要 (指定フォーム)	• 取組予定の内容 • 利用する基盤モデル • 取組体制 (ユーザー、開発者) 等	特設サイトの応募フォームで 提出
26年11月末	• 提案書 • デモ動画	• ユースケース • ユーザーにおける変革内容 • AIシステムの開発内容 • 実証結果 等	事務局から別途ご連絡する 応募フォームにて提出

より詳しい事業内容は、特設サイトの事業概要説明動画にてご確認ください

特設サイト上掲載箇所

動画QRコード

こちらより3分間の事業説明動画を確認頂けます



詳細は特設サイトへ ▶

<https://geniac-prize.nedo.go.jp/>

<説明会について>

- 追加説明会
GENIAC-PRIZEへの応募をご検討中の皆様を対象に、teamsにて追加説明会を開催いたします。
本説明会では、前回説明会以降の更新情報や各省庁特別賞の詳細に加え、前回受賞者による応募のTipsをご紹介します予定です。
 - 日時: 8/31 (月) 13:00~14:00
 - こちらからご参加ください: [【GENIAC-PRIZE】社会課題追加説明会](#)※アクセスできない場合は、ブラウザのシークレットモードをご利用いただくか、Teamsから一度サインアウトした状態でご参加ください
- 説明会アーカイブ
2026年6月12日 (金) に開催した説明会の内容をご覧いただけます。事業概要や応募の流れについてご説明しています。
[当日投影資料はこちら](#)

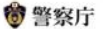
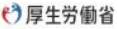
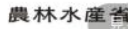


GENIAC-PRIZE 2026 事業説明会—エッセンシャルワーカーの人手不足解消に資するAIを活用した業務ブ

GENIAC PRIZE 2026

GENIAC-PRIZE
テーマ1 社会課題説明会
2026年6月12日

主催  経済産業省  NEDO  NEDO Challenge

協力  警察庁  厚生労働省  国土交通省  農林水産省 

本日のアジェンダ

13:00-13:02 オープニング

13:02-13:10 GENIAC-PRIZEの事業説明

13:10-13:15 新着情報

13:15-13:35 各省庁プレゼン

13:35-13:45 昨年度受賞者によるTips

13:45-14:00 QA

協力省庁以外のユースケース例



協力省庁の特別賞課題以外のユースケース也大歓迎です

主な産業	AI活用ユースケース例
鉱業，採石業，砂利採取業	採掘現場のセンサー・画像データのAI解析による安全リスクの早期検知 熟練技術者の高齢化・人手不足が進む鉱業・採石現場において、発破・掘削計画をAIが自動立案し、少人数の体制でも安全な作業計画を維持
製造業	熟練検査員が減少する食品ラインで、カメラ・センサー画像をAIで解析し異物混入・形状不良を自動検出、少人数でも食の安全を維持 医薬品等の必需品工場で、受注量・在庫・リードタイムをAIが解析し生産計画を自動生成、人手不足でも安定供給を維持
電気・ガス・熱供給業	停電・ガス漏れ・断水は住民の生命に直結する。巡回・保守要員が減少する中、AIが設備データを解析して異常を早期検知し、少人数体制でもライフラインを維持 需要予測AIによる電力・ガスの供給計画最適化
情報通信業 （一部警察庁特別賞関連産業も含む）	災害時の通信途絶が人命に関わる中、AIが作業員の稼働状況・地理データを解析し、限られた人員でも復旧優先度の高い箇所へ迅速に派遣 通信設備の稼働データをAIが常時解析して障害の予兆を検知し、復旧手順を自動提案することで、保守要員の経験不足や人手不足を補いながら通信の安定運用を支える
運輸業，郵便業 （一部国交省特別賞関連産業も含む）	物流業のドライバー不足が進む中、配送先・時間帯・積載量・交通状況をAIが解析し配送計画を自動生成・最適化、限られた人員でも物流網を維持 社会・物流インフラを支えるドライバーの運行記録・点呼記録・アルコールチェックのAI自動入力と法令遵守チェックの自動化
卸売業，小売業	品出し担当者が不足する中、AIが棚の映像から欠品・陳列崩れをその場で認識し、商品の取り出し方から運搬経路までをロボットの動作として自動生成することで、スタッフ不在でも売り場を維持 棚割・陳列計画のAI生成および欠品・鮮度劣化リスクの自動検知・アラートにより必需品の品質・供給を維持

主な産業	AI活用ユースケース例
学術研究，専門・技術サービス業	医療研究データのAI解析による実験計画・仮説立案の支援 研究機関の実験・検査業務を支える技術職員が不足する中、AIが分析データの一次処理・レポート作成を自動化し、限られた人員でも研究基盤を維持
金融業，保険業 （一部警察庁特別賞関連産業も含む）	地方の信用金庫・地銀で審査担当者の人手不足が進む中、AIが融資審査・与信判断の一次スクリーニングを担うことで、地域の資金需要への対応を維持 保険金請求書類のAI画像解析による自動査定・不正検知により、限られた人員でも被災者・被害者への迅速な支払いを維持
宿泊業，飲食サービス業	医療従事者・被災者等の緊急宿泊需要に対応するホテルにおいて、予約データ等をもとにAIがスタッフフシトを自動生成し、限られた人員でも受け入れ体制を維持 病院・高齢者施設向け給食サービスにおいて、AIが献立・仕入れ・アレルギー対応を自動化し、限られた調理員でも安全な食事提供を維持
教育，学習支援業	公立学校の学習履歴データをAIが解析し、個別指導案・教材を自動生成することで教員の授業準備負担を軽減 生徒の提出物・テストをAIが自動採点・分析し、教員の指導計画作成を支援
複合サービス事業	農協等において、窓口業務をAI音声認識で自動化し、少人数でも住民向けサービスを維持 組合における共済・貯金等の申込書類処理をAIが自動化し、限られた事務職員でも組合運営を維持
サービス業 （他に分類されないもの）	夜間巡回・雑踏警備等の人員配置をAIが最適化し、深刻な人手不足の中でも必要な警備水準を維持 廃棄物処理の収集ルート・車両稼働データをAIが解析し、限られた人員での収集効率を最適化・突発対応を支援
公務 （一部警察庁特別賞関連産業も含む）	住民からの問い合わせ対応AIチャットボットによる一次窓口の自動化 申請書類のAIによる審査業務の効率化

ここで示す例以外のAI活用ユースケースのご応募也大歓迎

協力省庁特別賞のほか、地域賞・チャレンジ賞等を設けており、**多くの応募者に懸賞金獲得のチャンスがございます**

審査員特別賞総額約3億円



協力省庁特別賞

協力省庁として4省庁が参画
各省庁の課題に関連する応募を
募集し、秀でた応募者へ授与します



地域賞

地域特有の課題に取り組む応募に
対して授与します



チャレンジ賞

成果に関わらず、難しいユースケース
に果敢に取り組む応募に対して
授与します

※その他の特別賞も追加予定、詳細は別途公表

国産基盤モデル開発事業者リスト

国産基盤モデル開発事業者リストは計42社 (8/27時点) を掲載しサイト上で公開しております。
ご応募の際はここの中からモデルを選定ください

カラクリ株式会社	ウーブン・バイ・トヨタ株式会社	東京科学大学・産業技術総合研究所	株式会社ABEJA	NABLAS株式会社
Shisa株式会社	有限会社GPU	株式会社 Preferred Networks	国立情報学研究所 (LLM-jp)	富士通株式会社
株式会社リアルグローブ	日本電気株式会社	NTT株式会社	ONESTRUTION株式会社	インフィニマインド株式会社
株式会社AldeaLab	Turing株式会社	楽天グループ株式会社	知能技術株式会社	株式会社Recho
株式会社バーニャカウダ	徳機株式会社	アイリス株式会社	東京大学	株式会社大林組
Humanoid Control Systems株式会社	株式会社ELYZA	株式会社GENSHI AI	株式会社 ARATAMA Factory	ストックマーク株式会社
株式会社マクニカ	学校法人名城大学	合同会社 Smart Designer	SB Intuitions株式会社	合同会社メンタルナビ
Sakana AI株式会社	株式会社 KK Generation	株式会社ネクストシステム	ARAV株式会社	株式会社KyotoAI
コグニティ株式会社	Olive株式会社			※特設サイトにて随時更新中

Note: 順不同

一般審査員(暫定)

一般審査員には、各分野で高い権威を有する以下の皆様を予定しております
このような方々にご審査いただけることは、大変貴重な機会と考えております



安宅 和人

慶應義塾大学
環境情報学部
教授 /
LINEヤフー株式会社
シニアストラテジスト



比戸 将平

昨年度受賞者 /
ダイキン工業株式会社
テクノロジー・
イノベーションセンター
技師長



吉原 浩之

Kaggle
Grandmaster /
Google Developer
Expert (AI)



大川 泰弘

Kaggle
Grandmaster /
株式会社東芝
総合研究所 インフラ
システムR&Dセンター
スペシャリスト



杉山 俊幸

株式会社日経BP
総合研究所
主席研究員 /
チーフコンサルタント



柿沼 太一

STORIA法律事務所
弁護士

※省庁別特別審査員は後述

本日のアジェンダ

13:00-13:02 オープニング

13:02-13:10 GENIAC-PRIZEの事業説明

13:10-13:15 新着情報

13:15-13:35 各省庁プレゼン

13:35-13:45 昨年度受賞者によるTips

13:45-14:00 QA



警察庁

警察庁 生活安全企画課 兼 組織犯罪対策部
特殊詐欺予防係 南谷様

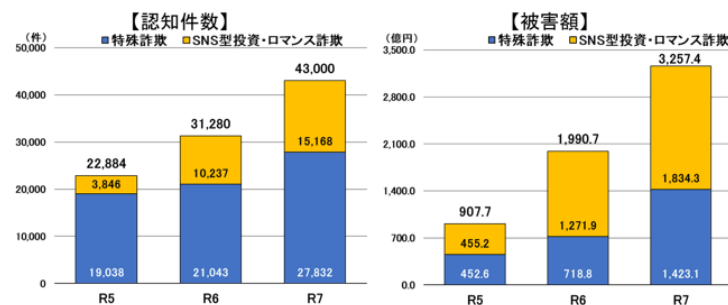
特殊詐欺への対応が課題です。AIを活用した対策高度化、被害抑止、対応負荷・コスト軽減を期待します

特殊詐欺対策に係るAI活用「GENIAC-PRIZE（NEDO懸賞金活用型プログラム）」

特殊詐欺被害の現状

- 令和7年中の特殊詐欺の認知件数は43,000件、被害総額3,257.4億円（1日当たり約9億円の被害）といずれも過去最悪の被害となり、極めて深刻な情勢。
- 特殊詐欺被害の深刻化に伴い、検挙件数・検挙人数も前年から増加。また、ニセ警察詐欺をはじめ特殊詐欺の手口は日々巧妙化しており、国民から警察への被害相談も増加傾向。
- 官民が連携した被害防止対策に加え、民間企業も特殊詐欺の被害抑止のため様々なサービスを提供しているものの、特殊詐欺の被害の増加に歯止めがかからない状況。

特殊詐欺の認知件数及び被害額の推移



課題

- 特殊詐欺に対処するため、警察や通信・金融等の特殊詐欺の被害抑止に関わりのある業界の負担・コストが増加。
 - 被害者となる国民は犯罪被害に係る膨大なコストを担わされており、地方自治体や自治会等の国民に身近な幅広い関係機関・団体においても、広報啓発等の被害防止対策に係る負担が増加。
- ⇒ 特殊詐欺が治安対策上の最重要課題となっており、警察をはじめとする「国民の安全・安心」に関わる官民の様々な機関、団体、民間企業等の負担・コスト増加が課題

取組の方向性

- 官民双方で増加する特殊詐欺への対処に係る負担・コストを軽減するため、**AIを活用し、特殊詐欺対策を高度化することで、被害抑止を一層推進**する必要。
- 特に、犯人達の欺罔のテクニックは巧妙であることから、犯人からの電話やメッセージを直接受けないための取組として、**犯行ツール対策**を高度化する必要。



特殊詐欺への対応が課題です。AIを活用した対策高度化、被害抑止、対応負荷・コスト軽減を期待します

特殊詐欺対策に係るA I活用「GENIAC-PRIZE（NEDO懸賞金活用型プログラム）」

取り組んでいただきたいテーマ：**A Iを活用した特殊詐欺対策の高度化**

特殊詐欺抑止に関わる官民様々な機関をユーザーとした、AIを活用した特殊詐欺対策を広く募集。

ユーザー類型	ユーザー例	業務プロセスにおけるAI活用例
官公庁	警察庁・都道府県警察	- 特殊詐欺の犯人からの通話やメッセージ、YouTubeやInstagram等の偽広告等を検知・警告等するアプリ・サービスの開発・提供 - 特殊詐欺相談の受付・初期トリアージをAIチャットボットが対応 - 詐欺手口の新傾向をSNS・報道からAIが自動収集し担当者へ配信
	都道府県・市区町村・税務署等	- 住民向け特殊詐欺注意喚起コンテンツのAI自動生成・多言語化 - 高齢住民向けAI電話・チャット相談窓口（24時間対応） - 職員を標的とした二重警察官等からの不審連絡をAIが検知し、情報漏洩を未然防止
民間事業者	金融機関	- 振込・送金時に不正送金の兆候をAIが検知し警告・保留 - 高齢者窓口でAIが詐欺誘導トークを検出しアラート - SNS型投資詐欺の不審勧誘パターンを分析し顧客へ早期警告
	携帯キャリア/通信事業者	- ユーザー許可の下、通話内容をリアルタイム解析し詐欺電話を検知・警告 - SMS・メッセージの不審文面を分析しフィッシング・詐欺リンクを検知・警告 - 着信・メッセージ受信時にリアルタイムで詐欺スコアを表示
	SNS事業者	SNS上の広告や不正勧誘をAIが分析し投資詐欺・偽情報を検知・警告
	その他	仕入先・役所を装った振込依頼・偽メールをAIがリアルタイム検知し経理担当者へ警告

懸賞金以外のメリット措置（P：検討中）

特殊詐欺の被害抑止を推進するためには、開発された技術を実際に国民が利用することが重要。そのため、開発された技術の社会実装に向けて、令和8年度GENIAC-PRIZE（NEDO懸賞金活用型プログラム）の本テーマに応募した民間企業のうち、**特殊詐欺の被害抑止に資する優れた技術を提案した民間企業**に対して、**以下の伴走支援策（メリット措置）を検討。**

- 実装される技術の機能向上に必要な特殊詐欺の手口の特徴等の知見提供
- 実装される技術を国以外にも地方公共団体や民間企業に幅広く提供することを希望する場合のマッチング支援
- 実装される技術に関して、通信の秘密等の法的論点の整理が必要な場合の関係省庁への照会



特殊詐欺対策分野のAI活用にご知見のある審査員の皆様に審査頂きます



荒井 崇史

東北大学
大学院文学研究科
教授



原田 知佳

名城大学
人間学部
人間学研究科
教授



島田 貴仁

滋賀大学
データサイエンス学部
データサイエンス研究科
教授



高橋 正和

株式会社Preferred
Networks セキュリティアーキ
テクト・AIガバナンス推進/
日本ネットワークセキュリティ
協会 副会長



厚生労働省 医政局 総務課
医療政策企画官 坂本様

医療・介護分野では人材不足と業務負荷の増大が深刻化しています。生産性向上や負担軽減、サービス品質向上を期待します

医療・介護分野における A I 技術の活用

- 日本においては少子高齢化が急速に進展。85歳以上を中心とした高齢者数は2040年頃のピークまで増加する一方、全国的に生産年齢人口は減少。医療・介護ニーズの増大とそれを支える人材確保の課題の双方に直面。
- 医療分野では、地域毎の医師偏在も背景に、地域医療を担う医療従事者不足が生じているほか、個々の医療機関等における診断書作成等の事務負担が業務全体を圧迫。
- 介護分野では、2040年には約57万人の介護職員が新たに必要と推計。サービスの質の確保と生産性の向上を図るとともに、勤務環境の改善等により業界全体として人材確保を推し進める必要。

A I を活用することにより・・・

- 医療機関や介護事業所等における各種業務処理の大幅な負担軽減を図ること
- 効率的かつ質の高い医療・介護サービスの提供につなげることを通じ、上記医療・介護現場の課題解決に資することが期待

医療分野のユースケースの例

- 治療内容以外の患者照会・相談に A I が対応
- 病棟の状況 (※) を踏まえ最適な看護配置を A I が提案
※入院患者の人数・年齢構成、重症度、オペ・検査件数、看護職員の経験年数・習熟度等
- 院内各データから退院時サマリや紹介状を A I が作成
- 地域医療の確保、報酬改定や財務状況等も踏まえ最適な経営プランを A I が提案 ※ P 2 にその他の例を記載。

介護分野のユースケースの例

- 利用者とのやりとり音声を用いケア記録素案を A I が作成
- 見守りセンサーデータから体調変化兆候を A I が把握・職員に伝達
- 適切な食事・排泄等の生活プラン素案を A I が提案
- 訪問介護のスケジュール素案を A I が作成
※ P 3 にその他の例を記載。

医療・介護分野では人材不足と業務負荷の増大が深刻化しています。生産性向上や負担軽減、サービス品質向上を期待します

AI懸賞金事業 重点領域(医療分野の業務効率化)

●病院・診療所のエッセンシャルワーカーの業務効率化に資するAIの開発

【例】

(患者対応関係)

- ・患者からの照会・相談にアバターが対応するAIの開発
※治療内容に関する受け答えには応じない

(看護業務関係)

- ・病棟の看護職員の勤務表を、72時間ルールや職員の希望等も踏まえて自動作成するAI
- ・その日の病棟の状況(入院患者の人数・年齢構成、重症度、オペ・検査件数、看護職員の経験年数・習熟度等)を踏まえて、最適な看護配置を提案するAI
- ・電子カルテや検査データ等の情報から、その日の日勤⇒夜勤の患者申し送り事項を自動作成するAI

(医師業務関係)

- ・電子カルテだけでなく、院内の様々なデータを自律的に探して、最適な退院時サマリや紹介状を自動作成するAI

(病院経営関係)

- ・地域医療の確保、診療報酬の改定内容や財務状況等も踏まえ、改定後の最適な算定プラン・経営改善プランを提案するAI
- ・様々な病院の業務プロセスを学習し、標準的な業務プロセスモデルを提案するAI

医療・介護分野では人材不足と業務負荷の増大が深刻化しています。生産性向上や負担軽減、サービス品質向上を期待します

AI懸賞金事業 重点領域（介護分野の業務効率化）

●介護分野の業務効率化及びケアの質向上に資するAIの開発

【例】

介護の重点分野（9分野16項目）及びその周辺領域における業務効率化に資するAI

（9分野16項目）

移乗支援（装着、非装着）、移動支援（屋外、屋内、装着）、排泄支援（排泄物処理、排泄予測・検知、動作支援）、入浴支援、見守り（施設、在宅）、コミュニケーション、介護業務支援、機能訓練支援、食事・栄養管理支援、認知症生活支援・認知症ケア支援

○9分野16項目におけるAI技術の活用事例

- ・機能訓練支援：画像認識データ（骨格推定）からAIが身体機能を解析。解析結果を活用することで、多職種での情報共有が容易化。福祉用具貸与において、専門職による利用者に最適な歩行器等の選定に活用。
- ・介護業務支援：音声からAIが自動で記録・要約し、議事録や報告書の作成を実施。記録入力時間等の事務負担が減少。

（9分野16項目の周辺領域の例）

- ・食事、おやつの配膳・下膳
- ・居室清掃、片付け 等

医療・介護分野のAI活用にご知見のある審査員の皆様に審査頂きます



森 武俊

東京理科大学
先進工学部
機能デザイン工学科
教授



村岡 修子

NTT東日本 関東病院
品質保証室長 /
NTT東日本 総務人事部
医療DX推進室
担当部長



井上 創造

九州工業大学
ケアXDXセンター長・教授



調整中

農林水産省

農林水産省農村振興局農村政策部 農村計画課
農村活性化推進室 係長 廣川様

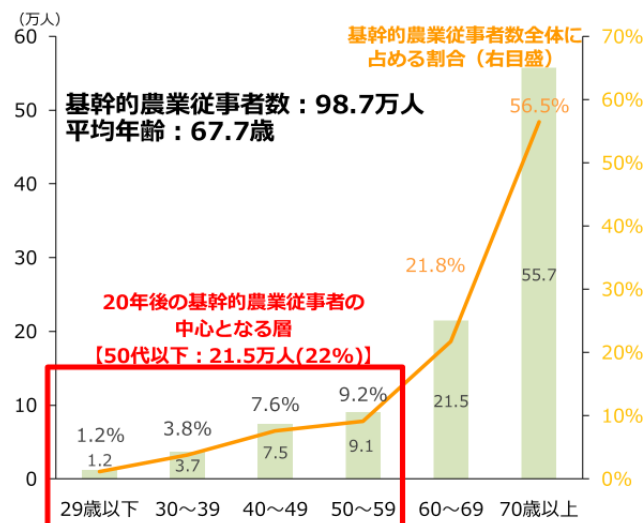
食料の安定供給や農林水産・食品産業の持続的な発展が課題です。
農山漁村の活性化に寄与する取組を期待します

基幹的農業従事者の年齢構成

1

- 2026（令和8）年における**基幹的農業従事者数は98.7万人**、平均年齢は**67.7歳**で、**年齢構成は70歳以上の層がピーク**となっている。
- 今後10～20年先を見据えると、**基幹的農業従事者数は大幅に減少**することが**確実**であり、生産基盤の脆弱化が危惧されるところ。

図1 基幹的農業従事者の年齢構成（令和8年）



資料：農林水産省「農業構造動態調査」

注：基幹的農業従事者とは、15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者（雇用者は含まない）。

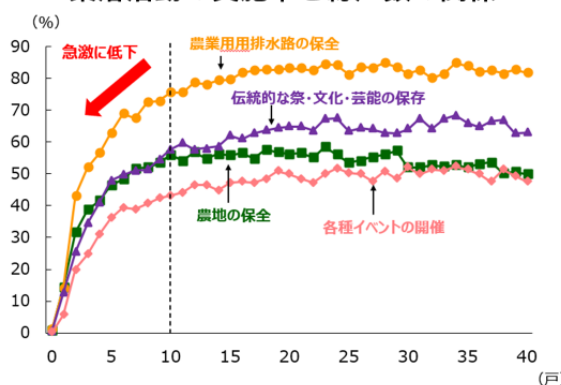
食料の安定供給や農林水産・食品産業の持続的な発展が課題です。
農山漁村の活性化に寄与する取組を期待します

農山漁村の現状と課題

2

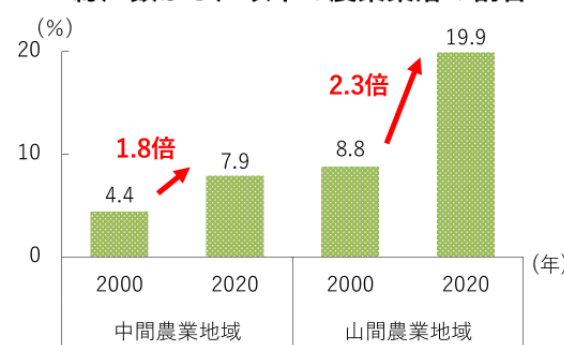
- 我が国は、高齢者の引退等による農業者の大幅な急減に直面。
- このような中で、**食料安全保障を確保する**には、農業の生産性向上や持続可能性の両立に加え、**農山漁村のコミュニティ維持が不可欠**。今後、これらの課題を踏まえ、「**食料・農業・農村基本計画**」を策定。
- 集落の総戸数が9戸以下となると、農地の保全等の集落活動が急激に低下するが、山間地域における総戸数が9戸以下の集落の割合は2020年と2000年を比較すると2.3倍に増加するなど、**中山間地域において農山漁村のコミュニティの維持が懸念**される。

集落活動の実施率と総戸数の関係



資料：農林水産政策研究所「日本農業・農村構造の展開過程-2015年農林業センサスの総合分析-」(2018年12月)

総戸数が9戸以下の農業集落の割合



資料：農林水産省「農林業センサス」

食料の安定供給や農林水産・食品産業の持続的な発展が課題です。
農山漁村の活性化に寄与する取組を期待します

エッセンシャルワーカーの人手不足に対する農林水産業、農山漁村でのA I活用 3

エッセンシャルワーカーの人手不足に関する農林水産業、農山漁村の課題

- 農山漁村において、**農林水産業等の従事者（＝エッセンシャルワーカー）が減少**する中で、生産活動環境及び生産性の低下により、農林漁業による所得の確保の課題が生じ、生活環境の維持が困難となる等の課題が生じている。
- このため、**食料安定供給や多面的機能の発揮に支障**が生じることが懸念される。

農林水産業等の
従事者の減少
(エッセンシャルワーカー)

生産活動環境及び
生産性の維持困難

新規従事への躊躇
生活環境の維持困難

農林漁業による
所得の確保に課題

上記課題への対応

- 上記課題に対し、A I等の先端技術の呼び込み等により**生産性向上**を図り、人口減少下の農業生産基盤の維持・強化を促進するとともに、**農山漁村に人を呼び込むため**、多様な地域資源を活用した**付加価値向上**による**所得の向上と雇用の創出**を図り、**農山漁村インフラの確保や地域機能の維持等の農山漁村環境の維持**を促進することが重要。

上記取組に向けたA Iの活用

- 生成A Iを筆頭に急速な技術進歩が起きている人工知能（A I）は、効率性や利便性を大きく向上させる。
- 我が国は、世界に誇れる食文化、地域ブランド（農林水産物）等を有しており、その強みを活かすチャンス。
- 今後、**農山漁村においてA Iを活用し生産性の向上等に取り組んでいる事例を創出するため、地域課題解決に資するローカルな情報を活用するA Iモデルを開発し、地域で実装していく必要。**

地域課題の解決に資するA Iモデルの評価軸として、次ページに示す取組が考えられる。

食料の安定供給や農林水産・食品産業の持続的な発展が課題です。
農山漁村の活性化に寄与する取組を期待します

エッセンシャルワーカーの人手不足に対する農林水産業、農山漁村でのAI活用 4	
農林水産業、農山漁村における所得の向上と雇用の創出	
生産性の向上 (取組例) ・地域の気候条件等に適した作物、栽培方法の提案 ・ハウス、畜舎、養殖などの管理・環境制御の効率化・自動化 ・収穫量、生産量の予測、資源量の把握及びそれによる作業計画・経営計画等の効率化 ・農林水産業現場での判断支援・高度化 (生育予測と実績データの分析に基づく適切な作業時期・回数・作業ルートの判断・管理等) ・経験に基づく属人的な作業の標準化・効率化(栽培環境や生育状況から客観的に最適な資材(肥料や飼料等)の判断、漁労ノウハウ等) ・少人数で経営が回る作業分担やスケジュールの生成、機器導入の提案 ・効果的かつ効率的な生育診断や化学肥料、農薬、動物用薬品等の活用による省力化及び資材の削減 ・農作業、林野作業、漁労作業中などの現場での安全性確保 ・農地のマッチング ・土壌データの可視化や森林境界の明確化等の地理的情報の見える化 ・画像判別を活用した農畜林水産物の加工自動化 ・捕獲個体搬入時におけるジビエ利用の可否判断の省力化 ・繁殖管理の最適化等に向けた家畜の繁殖適期の判断の高度化 ・動物疾病の早期把握・予兆検知の実現 (生産量の増加や治療費等のコスト削減に加え、アニマルウェルフェアの向上も実現)	付加価値の向上 (取組例) ・6次産業化での活用(市場調査、パッケージ開発、コストの削減) ・市場選定、需給予測、出荷管理、品質判定 ・市場情報調査、各国向け品目別輸出に係る必要資料の作成、多言語翻訳 ・農林水産物のブランド化、ブランドの維持 ・消費者向けの情報発信の取組や地域資源の魅力発信 ・みえるらべる、J-クレジット、水産エコラベル等を活用した環境負荷低減の取組 ・海外等、新たな事業者開拓の取組 ・ジビエ品質判定・等級化システムの導入
共通項(生産性の向上及び付加価値の向上) (取組例) ・補助金等の各種申請業務の支援・効率化 ・人手を要する生育診断や気候変動等に対応した環境コントロール(温度、湿度、日照、栽培に適した土づくり、かんがい、畜産・養殖における給餌、生育状況モニタリング等)の実現や高温・渇水への対応 ・農地のマッチングや集落におけるルール、漁場利用のルールなどの中立的な判断による意思決定の効率化・合理化 ・サプライチェーン全体による農産物やジビエ利用物流等の効率化及び需要に応じた最適な出荷先の提示 ・共同体としての農山漁村が有する知識や経験、技術等の暗黙知の継承 ・病害虫の発生予測と対策、気象害の早期発見と対策 ・需給予測や中長期的な市場の将来予測に基づく作付品目や販路の選択 ・新品種開発の加速化	

食料の安定供給や農林水産・食品産業の持続的な発展が課題です。
農山漁村の活性化に寄与する取組を期待します

エッセンシャルワーカーの人手不足に対する農林水産業、農山漁村でのAI活用 5

農山漁村環境の維持

農山漁村インフラの確保

(取組例)

- ・農業生産基盤（ため池・農道・農業用水路等）の効果的かつ効率的な**日常点検**
- ・林業用施設（林道等）の効果的かつ効率的な**日常点検**
- ・農林水産業・農山漁村の防災・減災対策

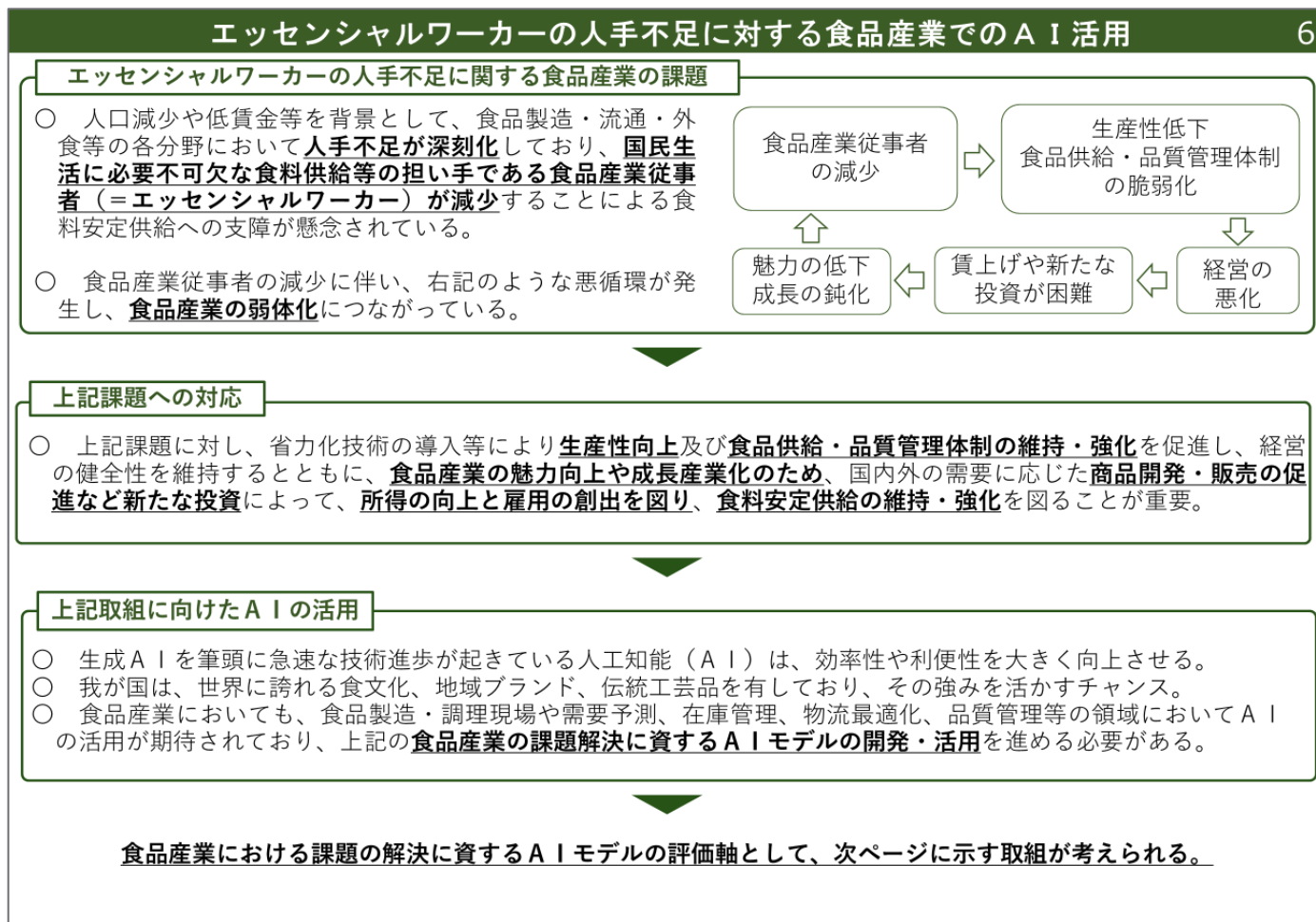
地域機能の維持

(取組例)

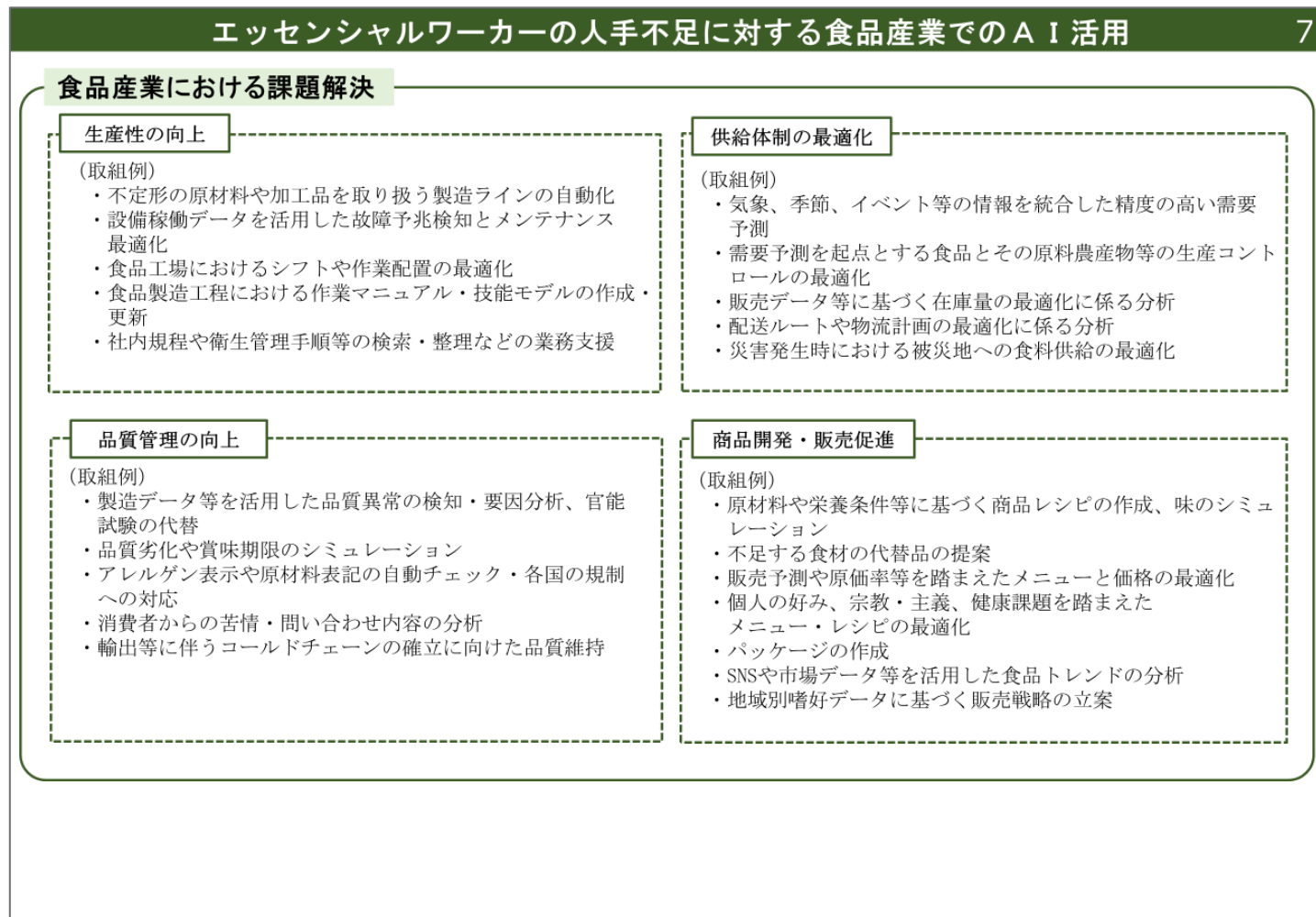
<鳥獣被害対策>

- ・熟練捕獲者等の有する知識や経験、技術等の暗黙知の継承
- ・地理情報や生息調査結果、捕獲や罠等の対策状況等のデータ集約と見える化、これらを踏まえた重点捕獲エリアや罠整備場所等の検討支援
- ・指定した獣種・大きさの個体の選択的捕獲
- ・過去の出没状況や土地被覆、堅果類の豊凶等の情報を踏まえたクマの出没・危険予測
- ・個体識別による市町村等の捕獲確認業務の簡素化
- ・中山間地域の気象災害の予測、対策

食料の安定供給や農林水産・食品産業の持続的な発展が課題です。
農山漁村の活性化に寄与する取組を期待します



食料の安定供給や農林水産・食品産業の持続的な発展が課題です。
農山漁村の活性化に寄与する取組を期待します



食料の安定供給や農林水産・食品産業の持続的な発展が課題です。
農山漁村の活性化に寄与する取組を期待します

農林水産省特別賞に対するメリット措置について

8

開発されたA Iモデルについては、実際に農林水産業・食品産業の現場に実装されることが重要である。

そのため、懸賞金活用プログラムの1次審査以上を通過した企業に対して、今後、以下のA Iモデル実装に向けた機会の提供を行う。

A Iモデル実装に向けた伴走支援策

1次審査通過企業：

- 「『農山漁村』経済・生活環境創生プラットフォーム」や「フードテック官民協議会」、「食品企業生産性向上フォーラム」等におけるA I開発モデル（ソリューション）広報機会の提供（※）
- （※）審査通過企業数、ソリューションの提案内容、個別の広報機会の状況等に応じて、対象となる者を限定させていただくことがあります。

2次審査通過企業（このうち、国と共創して、実装しようとする者）：

上記に加え、

- A Iモデルを農山漁村振興への貢献活動に係る取組として位置付け、地方銀行、都道府県、市町村、1次データ管理者等の農山漁村におけるステークホルダーと連携し、農林水産業者とのマッチング支援や実装に係る必要な予算の紹介等を行うことで、国等がA Iモデルの農山漁村への実装に対して伴走支援を行う。
- 食品事業者を支援対象とする事業の公募に当たり、関係するA Iモデルの情報提供を行うとともに、A Iモデルの実装に取り組む事業者に対し、取組期間中における助言指導を行うなど伴走支援を行う。

農林水産業、食品産業分野のAI活用にご知見のある審査員の皆様に審査頂きます



田中 進

株式会社サラダボウル
代表取締役



長谷川 尚史

京都大学
フィールド科学教育研究センター
森林生態系部門
森林育成学分野
准教授



佐々木 貴文

北海道大学
大学院水産科学研究院
教授



海老澤 明彦

生産設備データ標準化
コンソーシアム 副代表



国土交通省

建設・インフラ分野の担い手確保が課題です。AI活用による生産性向上・管理の高度化を期待します

建設・インフラ分野でのAI活用

GENIAC PRIZE 2026

建設・インフラ分野が直面する課題

担い手・市場の課題

- ・技能労働者の高齢化と若年入職者の減少
- ・社会インフラの老朽化と維持管理体制の限界
- ・災害激甚化・頻発化による広域・迅速対応の必要性
- ・中小建設業者でのAI導入の負担感

技術・現場の課題

- ・屋外等の環境での移動技術の確立、現場ごとに異なる作業操作技術の高度化
- ・熟練技術・技能のデータ化基盤の未整備、一品生産ゆえのデータ蓄積の困難さ
- ・行政・現場データのAI-Ready化の未整備

制度・人材の課題

- ・自動施工・AI点検の出来形・品質・安全管理等の基準や責任分界点などのルールが未整備
- ・AI・ロボットを工程に組み込む実装人材の不足
- ・発注者/管理者側のAIガバナンス人材の不足
- ・中小事業者を支える地域支援体制の充実

行政使命としての3つのアプローチ

① 発注者・管理者の生成AI徹底活用

- ・AIで現場データに基づく迅速な意思決定を支え、監督検査、発注事務、予算管理等をAIで効率化
- ・土木構造物に加え、ポンプ・ゲート等インフラ機械設備の異常検知、劣化予測でのAI実装を推進
- ・AIを駆使し、方向づけや最終判断を担う職員の育成、体制づくり
- ・全国の自治体・中小事業者への横展開支援

② 産学官協働のAIデータ連携基盤

- ・「国土交通データプラットフォームMCPサーバー」等のデータ連携基盤整備を推進し、民間企業やスタートアップ等の開発を促進
- ・建設・防災・物流など幅広い分野での利活用を促進し、研究機関等と連携したAI用データの蓄積・標準化・オープン化を推進
- ・現場データに紐づくAI開発により地域課題解決に資するユースケース、ビジネスモデルの創出

③ フィジカルAI等による現場自動化実装

- ・土工・舗装等の建設施工を段階的に自動化（OPERA活用）
- ・熟練技術・技能をデータ化するとともに、作業データや現場データの形式・ルールを標準化することによりAIによる学習環境を構築
- ・制御信号、データ形式、セキュリティガバナンス等の協調領域を整備し、国が共通基盤（OPERA等）を整備し民間開発を促進

具体的なプロジェクト例

共通基盤・標準化整備

- ・制御信号、データ形式、セキュリティガバナンス等の協調領域の整備
- ・競争力強化につながるAI-Ready化された共通基盤の整備

施工自動化・ロボット実装

- ・土工中心に自動施工を段階的に実装
- ・レトロフィット技術や複数建機の協調制御、学習検証環境の整備
- ・ドローン、ロボット等の災害対応活用

熟練技術・技能の継承・形式知化

- ・ベテランの判断、手順をセンサ、映像から施工データ定義集として体系化
- ・AIによる手順や判断の支援から反復作業の自動化へ段階的に移行
- ・次世代技術者育成プログラムへ展開

行政・発注者のAI業務改革

- ・技術基準等のRAG参照を定着させるなど発注実務や監督検査の迅速化、官民双方の書類・手続き負担を軽減
- ・AI人材の育成・体制づくりを推進し、有用事例を自治体・地方整備局等へ横展開

AIデータ連携環境構築

- ・インフラデータをMCP/APIで利活用
- ・デジタルツイン・リスクシミュレーション等の促進
- ・大学・研究機関等と協力し、AI学習環境、評価基盤を整備
- ・オープンイノベーションで産業全体を底上げ、地域課題解決AIモデルの開発・実装

AI活用で目指す姿

#「省人化」と「質の高い社会資本・公共サービス」の両立

#中小事業者も恩恵を受けられる産業構造

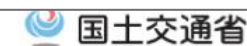
#人とAI・ロボットが協働する現場の実現

#地域インフラを守る持続可能な建設産業

#熟練技能の継承と次世代技術者の育成

建設・インフラ分野の担い手確保が課題です。AI活用による生産性向上・管理の高度化を期待します

国土交通省インフラ分野でのAI実証例（募集対象）



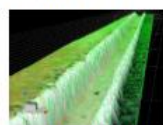
- R8年度GENIAC-PRIZE（懸賞金活用型プログラム）における国土交通省インフラ分野の実証対象領域として、インフラマネジメント、国土強靱化に資する取組を幅広く募集。

募集対象領域(取組例)

■ 現場施工 (自動施工、工程・施工管理など)



施工の高度化



点群データの活用

■ データ連携 (デジタルツイン、シミュレーションなど)



データプラットフォーム



リスクシミュレーション

■ 維持管理 (巡視、点検、異常検知など)



河川巡視



点検業務

■ フィジカルAI (技術基盤、安全確保など)



データ技術基盤



危険作業

■ 災害対応 (現地調査、衛星利用など)



現地調査



被災状況把握

■ 行政実務 (審査、知識化など)



図面審査



データ構造化・知識化

「現場施工」「維持管理」「災害対応」「データ連携」「フィジカルAI」「行政実務」など国土交通省インフラ分野において、インフラマネジメント、国土強靱化の観点から以下のいずれかに該当する取組であること。

1. 多様化する国民ニーズに的確に対応した質の高い社会資本・公共サービスを実現し、豊かな国民生活と日本の持続的な成長を牽引する取組
2. 防災や公共インフラなど「日本の強み」である現場に通じたデータ整備・活用を推進し、新たなビジネスモデル等を構築する取組
3. 業務プロセスの改革も視野に入れ、技術開発・現場実証を推進する取組

建設・インフラ分野のAI活用にご知見のある審査員の皆様に審査頂きます



大川 一也

千葉大学
大学院工学研究院
機械工学コース
准教授



全 邦釘

東京大学
大学院工学系研究科
社会基盤学専攻
特任教授



高橋 伸輔

国土交通省
大臣官房参事官
(イノベーション担当)

協力省庁以外のユースケース例



協力省庁の特別賞課題以外のユースケース也大歓迎です

主な産業	AI活用ユースケース例
鉱業，採石業，砂利採取業	採掘現場のセンサー・画像データのAI解析による安全リスクの早期検知 熟練技術者の高齢化・人手不足が進む鉱業・採石現場において、発破・掘削計画をAIが自動立案し、少人数の体制でも安全な作業計画を維持
製造業	熟練検査員が減少する食品ラインで、カメラ・センサー画像をAIで解析し異物混入・形状不良を自動検出、少人数でも食の安全を維持 医薬品等の必需品工場で、受注量・在庫・リードタイムをAIが解析し生産計画を自動生成、人手不足でも安定供給を維持
電気・ガス・熱供給業	停電・ガス漏れ・断水は住民の生命に直結する。巡回・保守要員が減少する中、AIが設備データを解析して異常を早期検知し、少人数体制でもライフラインを維持 需要予測AIによる電力・ガスの供給計画最適化
情報通信業 （一部警察庁特別賞関連産業も含む）	災害時の通信途絶が人命に関わる中、AIが作業員の稼働状況・地理データを解析し、限られた人員でも復旧優先度の高い箇所へ迅速に派遣 通信設備の稼働データをAIが常時解析して障害の予兆を検知し、復旧手順を自動提案することで、保守要員の経験不足や人手不足を補いながら通信の安定運用を支える
運輸業，郵便業 （一部国交省特別賞関連産業も含む）	物流業のドライバー不足が進む中、配送先・時間帯・積載量・交通状況をAIが解析し配送計画を自動生成・最適化、限られた人員でも物流網を維持 社会・物流インフラを支えるドライバーの運行記録・点呼記録・アルコールチェックのAI自動入力と法令遵守チェックの自動化
卸売業，小売業	品出し担当者が不足する中、AIが棚の映像から欠品・陳列崩れをその場で認識し、商品の取り出し方から運搬経路までをロボットの動作として自動生成することで、スタッフ不在でも売り場を維持 棚割・陳列計画のAI生成および欠品・鮮度劣化リスクの自動検知・アラートにより必需品の品質・供給を維持

主な産業	AI活用ユースケース例
学術研究，専門・技術サービス業	医療研究データのAI解析による実験計画・仮説立案の支援 研究機関の実験・検査業務を支える技術職員が不足する中、AIが分析データの一次処理・レポート作成を自動化し、限られた人員でも研究基盤を維持
金融業，保険業 （一部警察庁特別賞関連産業も含む）	地方の信用金庫・地銀で審査担当者の人手不足が進む中、AIが融資審査・与信判断の一次スクリーニングを担うことで、地域の資金需要への対応を維持 保険金請求書類のAI画像解析による自動査定・不正検知により、限られた人員でも被災者・被害者への迅速な支払いを維持
宿泊業，飲食サービス業	医療従事者・被災者等の緊急宿泊需要に対応するホテルにおいて、予約データ等をもとにAIがスタッフフシトを自動生成し、限られた人員でも受け入れ体制を維持 病院・高齢者施設向け給食サービスにおいて、AIが献立・仕入れ・アレルギー対応を自動化し、限られた調理員でも安全な食事提供を維持
教育，学習支援業	公立学校の学習履歴データをAIが解析し、個別指導案・教材を自動生成することで教員の授業準備負担を軽減 生徒の提出物・テストをAIが自動採点・分析し、教員の指導計画作成を支援
複合サービス事業	農協等において、窓口業務をAI音声認識で自動化し、少人数でも住民向けサービスを維持 組合における共済・貯金等の申込書類処理をAIが自動化し、限られた事務職員でも組合運営を維持
サービス業 （他に分類されないもの）	夜間巡回・雑踏警備等の人員配置をAIが最適化し、深刻な人手不足の中でも必要な警備水準を維持 廃棄物処理の収集ルート・車両稼働データをAIが解析し、限られた人員での収集効率を最適化・突発対応を支援
公務 （一部警察庁特別賞関連産業も含む）	住民からの問い合わせ対応AIチャットボットによる一次窓口の自動化 申請書類のAIによる審査業務の効率化

ここで示す例以外のAI活用ユースケースのご応募也大歓迎

本日のアジェンダ

13:00-13:02 オープニング

13:02-13:10 GENIAC-PRIZEの事業説明

13:10-13:15 新着情報

13:15-13:35 各省庁プレゼン

13:35-13:45 昨年度受賞者によるTips

13:45-14:00 QA

newmo



GENIAC PRIZE 応募・受賞の振り返り

newmo株式会社 Co-Founder/CTO

曾川景介 @sowawa

「GENIAC PRIZE 2025」 カスタマーサポートの生産性向上部門で newmoが開発したAIタクシー配車サービス『maido』が優勝



3/24 開催のGENIAC PRIZE
56組の応募者から8組が選ばれ最終ピッチ



開発者と利用者（配車センターリーダー）が登壇

最終プレゼン審査資料（抜粋）

AI電話配車エージェント「maido」

AIと人で支える「移動のインフラ」

newmo株式会社 / 株式会社未来都

※配車センターでは、newmoグループの大阪タクシー3社（未来都、堺相互、夢洲交通）に対応

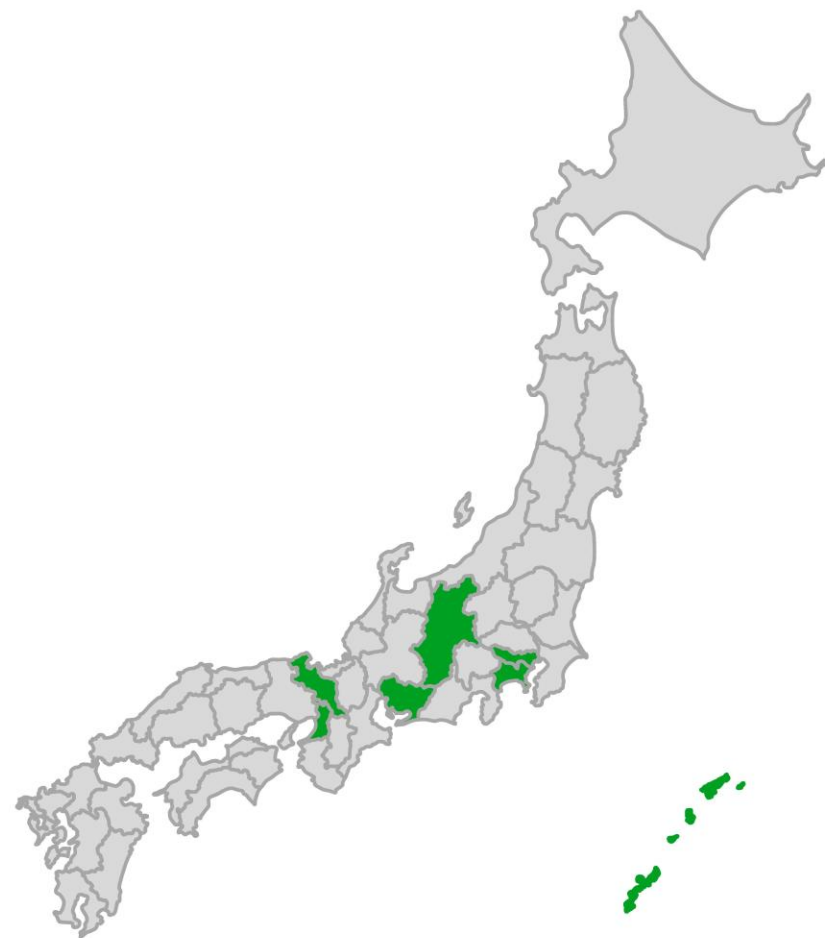


newmo

全国でタクシー事業を展開

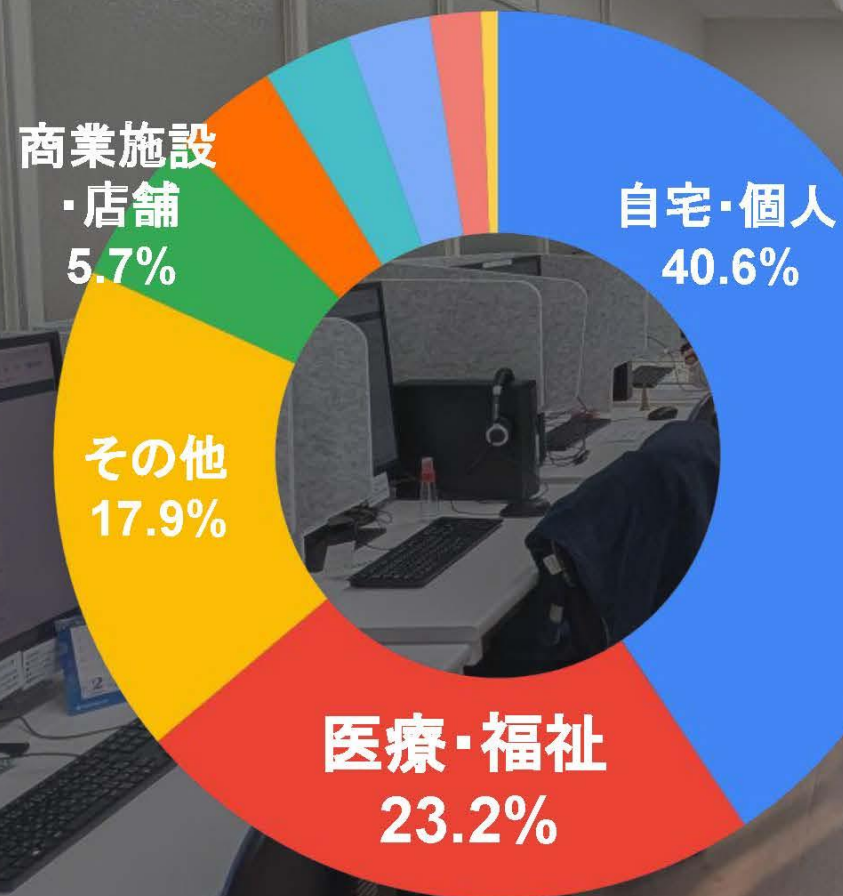
最終審査プレゼン資料(抜粋)

車両数	1,400台超
従業員数	2,100名超
展開 ブランド	大阪   夢洲交通 神奈川・東京 沖縄 うみかぜ交通 ゆいかじ交通



※2026年4月時点

大阪の配車センターでは毎日
30%
の電話を取り逃していた



タクシー配車依頼のうち

約4分の1

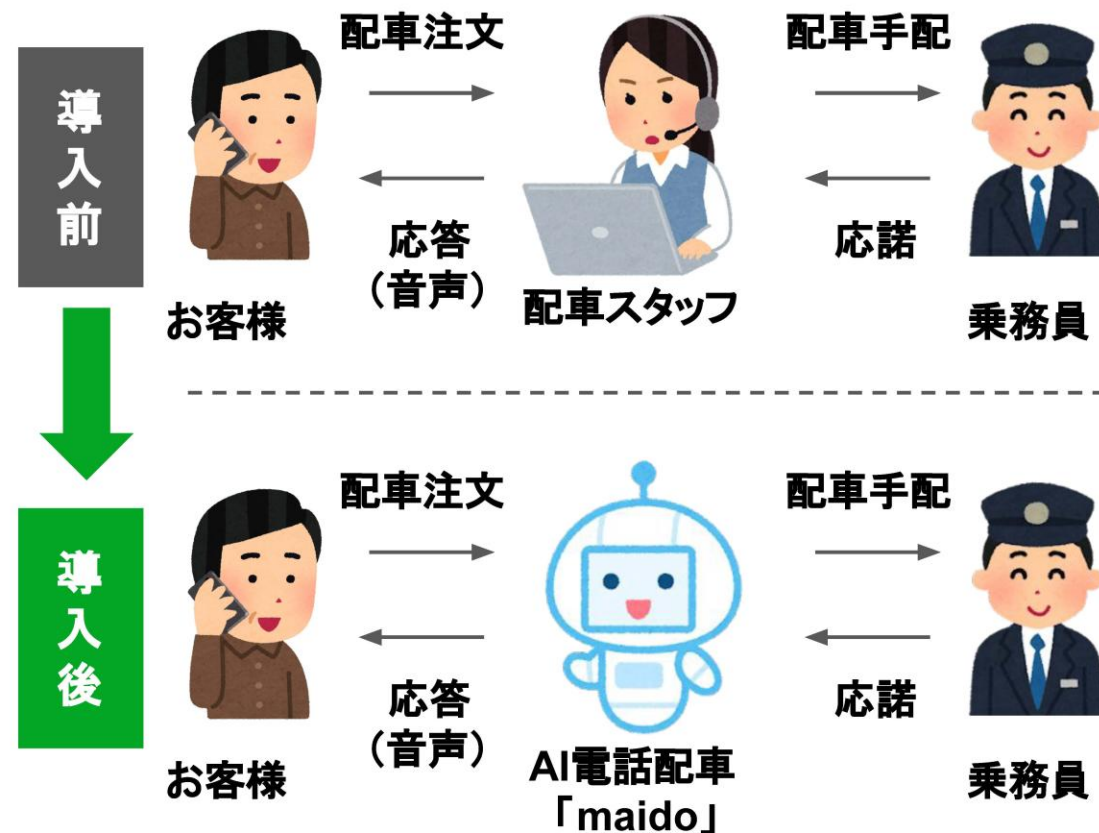
は医療機関への送迎など
エッセンシャルな
移動ニーズ

AI電話配車エージェント 「maido」

最終審査プレゼン資料(抜粋)

✓ お客様からの電話を
「maido」が受電

✓ 迎車地を聞き、配車
システムに登録



『maido』 デモ動画

最終審査プレゼン資料(抜粋)

AI電話配車エージェント「maido」

newmo

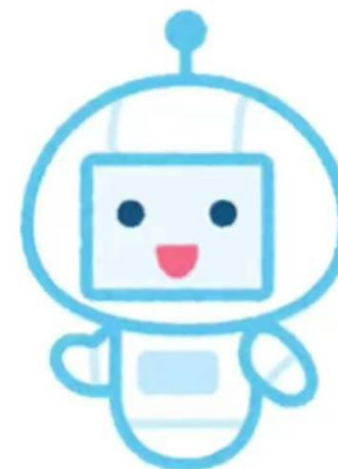


お客様

配車注文



応答
(音声)



maido

✓ 24時間 365日

✓ 500-700件/日

※2025年11月時点

「maido」導入後の成果

最終審査プレゼン資料(抜粋)

100%

受電率

従来の30%の
取り逃がしを
ゼロに

16,408

月間着信数

着信数が
大幅に改善

45.5%

AI完結率

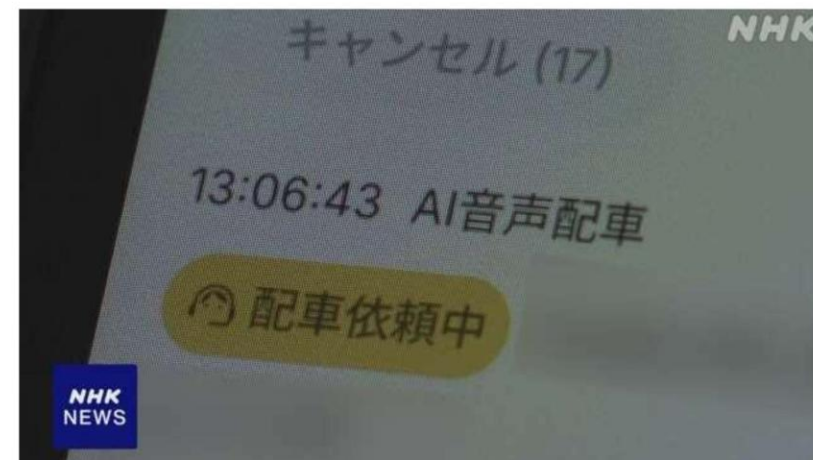
AIのみで
配車完了

※2025年11月時点

今後の展望

最終審査プレゼン資料(抜粋)

- ✓ 電話でのタクシー配車ニーズは依然多数
- ✓ 将来的には「maito」を同業他社へ展開予定



テレビ取材での紹介事例

応募を検討されている方へ

1.応募に際しての困難・乗り越え方

- 「国産モデルの利用」をどうするか？
 - もともと開発したプロダクトでは海外基盤モデル(Gemini)を採用していた
 - 日本語の不自然さ、漢字を正しく読めない、など、海外モデルに不満があった
 - チームで「国産基盤モデルリスト」から、検証してみたいものを探した
- 検証の方法は？
 - 一般ユーザー向けに提供する開発は難しかったので、社員のブラインドテストを実施
- 資料・動画づくりのリソース
 - 文章・資料作成には、AIを大活用！
 - 動画編集も素人からのスタートだが、簡単なツール(CapCut)を駆使して完成
 - 実際のデモ動画 → <https://youtu.be/tSOs83RTvdk>



↑ 応募時のデモ動画

2.参加してよかった点やインセンティブ

- 賞金

- 5,000万円！！
- ユーザー企業の現場(大阪のタクシー配車室)に賞品リクエストを聞き、「ちょっと良い空気清浄機」をプレゼントしました 📺

- メディア露出

- 受賞当日にテレビ東京 WBSにて大きく報道。その後も取材依頼が複数あり。

- 受賞歴・信頼

- 「経産省・NEDOのコンテストで 1位」という実績がアピールしやすい
- IRチームからも「投資家向けアピールになった」との声

- GENIAC事業全体との連携

- 運営は同じチームなので、会話・相談しやすい関係性ができた。
- その後、領域特化型基盤モデル事業(第 4期)でも採択へ！

- 社内が盛り上がり & 社員のモチベーションアップ

- 最終ピッチは各地でリアルタイム視聴して大盛り上がり！



全国のオフィスから配信を応援



賞金でタクシー配車センターに
空気清浄機を購入
(現場からのリクエスト🎁)

3.応募者へのアドバイス

- 社内に「タネ」を探してみる
 - 「テーマに合致してるのか？」とも思ったが、幅広に解釈して OK !
 - 「明確な課題・ニーズがあること」「実際に解決していること」が大事
 - すでに良いプロジェクトが社内にあるかも ... ?
- デモ動画に怯まないで！
 - 「手作りのクオリティで大丈夫か ... ?」と不安だったが、優勝できました
 - プロダクトの特徴や実績が伝われば OK !

本日のアジェンダ

13:00-13:02 オープニング

13:02-13:10 GENIAC-PRIZEの事業説明

13:10-13:15 新着情報

13:15-13:35 各省庁プレゼン

13:35-13:45 昨年度受賞者によるTips

13:45-14:00 QA

下記QRコードからアクセス可能です



詳細は特設サイトへ ▶

<https://geniac-prize.nedo.go.jp/>

**GENIAC-PRIZE 運営事務局
までご連絡をお願い致します**

geniac_prize@bcg.com

経済産業省、NEDOへの電話によるお問い合わせは受け付けておりません

